

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県越谷市 越谷市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透訓 Ⅰ	救 臨 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
339,156	32,126	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 Ⅰ…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

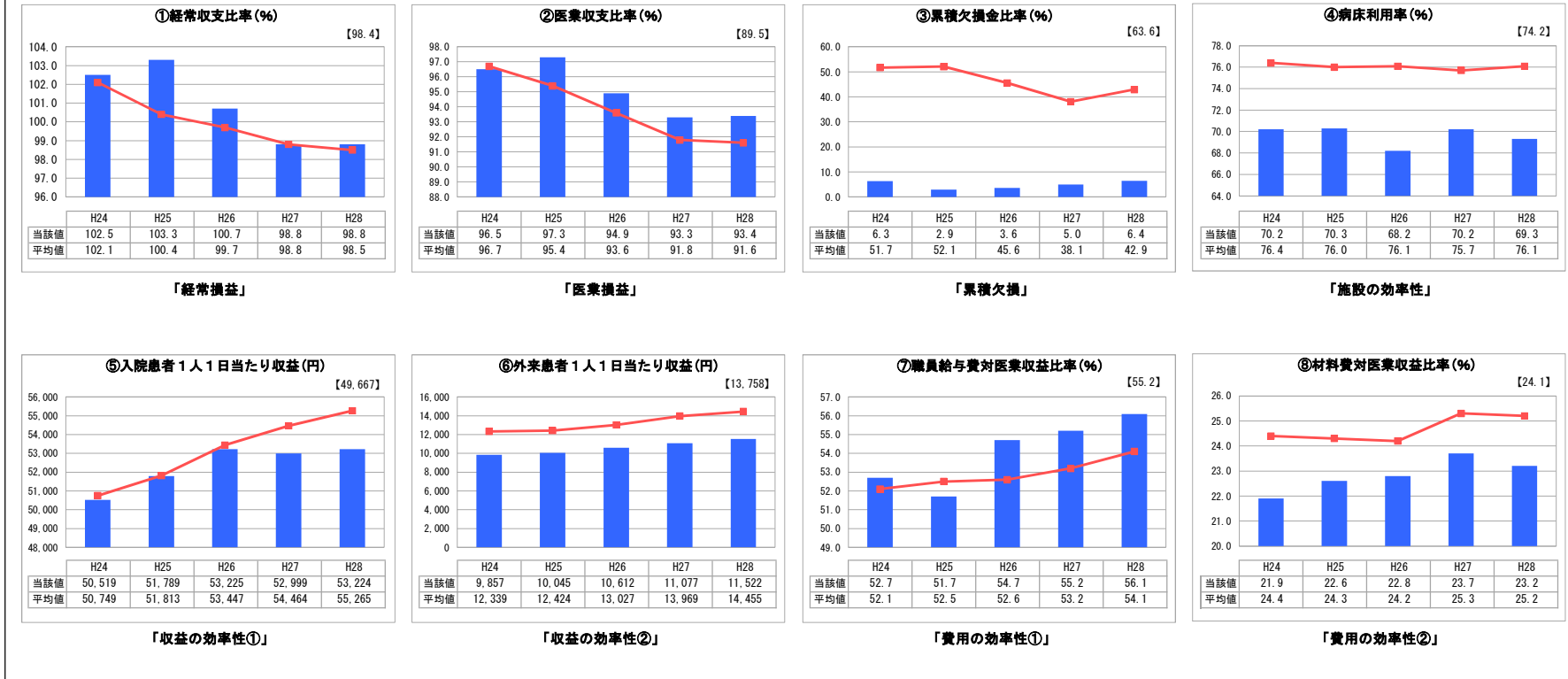
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
481	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	481
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
439	-	439

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療の役割を担っており、医療連携・機能分化を図る中で、救急患者や紹介患者をスムーズに受け入れ、後方の連携施設に逆紹介を行うことで、地域のハブとなる病院を目指している。特に東部医療圏において「救急医療」「がん医療」「小児・周産期医療」を担う役割が大きい。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
平成28年度は100%を下回っている。高額ながん治療等の薬品費や手術にかかる診療材料費等が経年的に増加しており、⑤の診療報酬改定が全体でマイナスの改定率であった影響も非常に大きいところである。今後は着目必要度で換算される重症度の高い患者を多く受入れていくことで、経常収支比率100%以上の黒字化を目指したい。

④ 病床利用率
類似病院平均値より低い水準となっている。地域の医療連携・機能分化を強化することで利用率の向上を図りたい。

⑤ 入院患者 1人1日当たりの収益
騰貴に伸びているものの、類似病院平均値より低い水準となっている。診療報酬請求もれ防止、査定額の抑制、新たな施設基準の取得等に取り組み、収益向上を図りたい。

なお、⑥外来患者 1人1日当たりの収益が類似病院平均値より低くなっている要因については、人工透析未実施の影響が大きいと考えている。

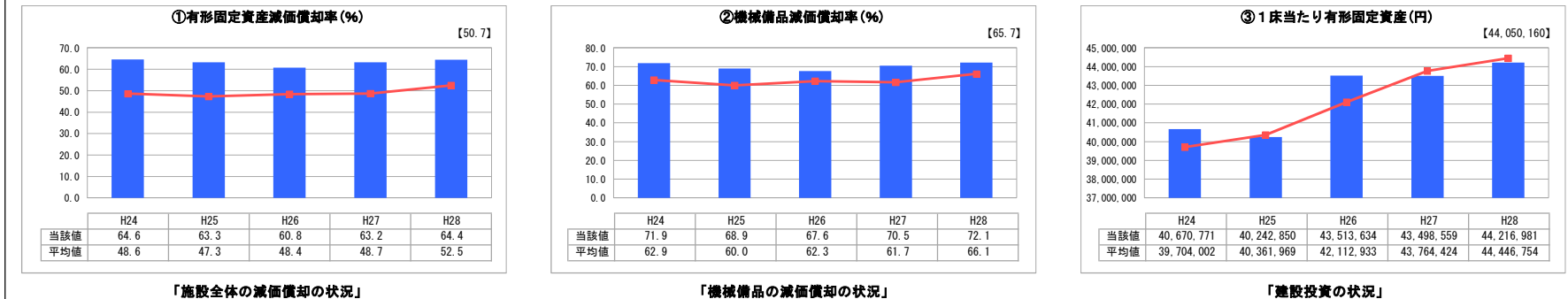
⑦ 職員給与費対医業収益比率
類似病院平均値より高くなっている。食事の提供や外来窓口業務等については見せせず直営により行っており、その分は委託料が軽減されている。

2. 老朽化の状況について

①②有形固定資産及び機械備品減価償却率
当院は昭和51年の開院以来、平成5～9年度にかけて、大規模な増築工事や改修工事を行い施設の維持を図ってきた。
また、医療器械についても計画的な保守点検や買い替え等を行ってきたところである。
しかしながら、経年劣化による老朽化は否めないため、将来的な施設の建替え等の検討が必要であると考えている。

③ 1床当たり有形固定資産
類似病院平均値より低くなっているが、昨年と比べ上昇している。医療器械や施設設備等の保守を徹底し投資の抑制を図りたい。

2. 老朽化の状況



全体総括

安定した経営基盤を築くため、第四期中期経営計画に基づき、病床の再編を検証するとともに累積欠損金の縮減を図る。
これを実現させるための「収益確保対策」「費用削減対策」「医療の質の向上・患者サービスの向上」「管理運営体制の強化」の4項目を柱とする各種施策について引き続き取り組む。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。